

いただいた主なご意見

○活動方針へのご意見

- 沢山の工夫を凝らしたイベントを開催する等、素晴らしいと思います。
- WXBC の活動を通じて有益なネットワークが生まれております、改めてお礼申し上げます。
- 人材育成 WG の中では、活発な活動が進められており、とても良いと思っております。
- コロナ蔓延の沈静化が確実になった段階では、WXBC の活動も対面の機会を増やしてほしい。
- 幅広い分野でのデータ交流、活用ができることを期待しています。
- 気象データアナリストに関する情報や講座をもっと開設してほしい。
- 気象データをプログラムレスで活用できるようなサービスが広がることを期待しております。
- 人材育成については気象庁の GRIB を使うことを前提にした取り組みが多いように思います。技術的なハードルを下げるためにも民間の API を使える場にしてもいいと思います。ビジネスに気象データを組み込む際には API の利用の方が一般的かと思います。ハッカソンのような短期集中のコンテストにすれば民間の商材もアピールできる場になると思います。
- 気象予報士資格や専門性を有する会員の方の登録/検索サイトがあればありがたいです。(新事業の創出や事業拡大に向けた企業間連携や採用を目的として)
- 気象学・気候学専攻の大学4年生、修士2年生、博士院生の就活へのケアをさらに厚くしていただけると大変ありがたいです。
- 海外との取り組みを単発で終わらないことを期待します。WXBC はまだまだ日本市場しか向いていない活動のように思います。

- WXBC 会員の増加、気象情報の配信サービス利用者数の伸び、「気象データアナリスト育成講座」修了生誕生等々の状況から、WXBC の 6 年間の活動は気象への関心を高めるとともに、気象データ活用のための裾野拡大と気象ビジネス推進の基盤作りといった面で一定の効果があったと感じている。しかしながら、一方で、WXBC の成立目的である「気象データを活用するビジネスの推進」がどの程度進んだか、拡大したかという点はもとより、残念ながら、日本における気象ビジネス市場の状況についてよく分からない。設立 10 年も視野に入ってきた今こそ、確かな手応えを感じながら、意味ある活動を検討し、実施していけるよう、この機会に下記の 2 項をご提案したい。

①気象データ利活用の進捗と気象ビジネスの進展具合を調査するアンケートの実施（頻度としては少なくとも 2～3 年に一回、対象としては少なくとも WXBC 会員、可能なら会員外の企業等も含めて実施できることが望ましい）

②ニーズ側とシーズ側が連携・協働するプロジェクトの推進（企業の枠、競争の壁を越えた中立性の高い、コンソーシアムならではのプロジェクト活動を想定。成果物の取り扱い等については規約や細則を踏まえ関係者間での詳細検討を想定）

○その他ご意見

- そろそろ気象庁新庁舎見学のイベントを組んで頂けると嬉しいです。

(以上)